別紙１（診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用粒子線照射装置）

１　診療用高エネルギー放射線発生装置（診療用粒子線照射装置）に関する事項

|  |  |
| --- | --- |
| 製作者名 |  |
| 型式及び台数 |  |
| 定格出力 | エックス線 | 最大エネルギー　　　　　　　　　　　　（MeV） |
| 最大線量率（水の吸収線量）　　　（Gy／分 at 1m） |
| 電子線 | 最大エネルギー　　　　　　　　　　　　（MeV） |
| 最大線量率（水の吸収線量） 　　（Gy／分 at 1m） |
| 設置型 | □据置型　　　□移動型 |
| 使用場所 | □診療用高エネルギー放射線発生装置使用室□診療用粒子線照射装置使用室□手術室 |
| 最大使用時間又は最大使用線量 | 　　　　　（時間/週）、　　　　　（時間/３月） |
| 　　　（Gy/週 at 1m）、　　　（Gy/３月 at 1m） |

２　診療用高エネルギー発生装置（診療用粒子線照射装置）の放射線障害防止に関する構造設備及び予防措置

|  |  |
| --- | --- |
| 発生管容器からの漏えい放射線量が利用線錐の放射線量の1／1000以下になる構造 | 有　　・　　無 |
| 照射終了直後の不必要な放射線からの被ばくを低減する防護措置 | 有　　・　　無 |
| 放射線発生時の自動表示装置 | 有　　・　　無 |
| インターロック | 有　　・　　無 |
| 遠隔操作構造 | 有　　・　　無 |
| 非常時の照射停止装置 | 有　　・　　無 |
| 移動型装置の保管条件 | 保管場所 | □管理区域内（室名：　　　　　　　　　　　　）□管理区域外（室名：　　　　　　　　　　　　） |
| 保管場所の施錠 | 有　　・　　無 |
| 保管方法 | □装置のキースイッチの管理□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

３　診療用高エネルギー発生装置（診療用粒子線照射装置）使用室の放射線障害防止に関する構造設備及び予防措置

|  |  |
| --- | --- |
| 使用室名 |  |
| 画壁等の材質及び厚さ等 | 区分 | 構造 | 材料 | 厚さ（ｍｍ） |
| 天井 |  |  |  |
| 周囲の画壁 | 東面 |  |  |  |
| 西面 |  |  |  |
| 南面 |  |  |  |
| 北面 |  |  |  |
| 床 |  |  |  |
| 出入口の扉 | 有（ ）　・　無 |
| 画壁等の外側における実効線量を１mSv／週以下とする防護措置 | 有　　・　　無 |
| 出入口の数 | 有　　・　　無 |
| 出入口の放射線発生時の自動表示装置 | 有　　・　　無 |
| 使用室の旨を示す標識 | 有　　・　　無 |
| 放射線障害の防止に必要な注意事項の掲示 | 有　　・　　無 |

４　その他放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 管理区域 | 実効線量を1.3mSv／３月以下とする防護措置 | 有　　・　　無 |
| 管理区域の旨を示す標識 | 有　　・　　無 |
| 管理区域への立入制限措置 | 有　　・　　無 |
| 居住区域及び敷地境界の実効線量を250µSv／３月以下とする防護措置 | 有　　・　　無 |
| 入院患者の被ばくする実効線量を1.3mSv／３月以下とする防護措置 | 有　　・　　無 |
| 患者監視モニターの設置 | 有　　・　　無 |
| エックス線装置の使用 | 有（装置名：　　　　　　　　）　・　無 |
| 手術室で使用する場合の防護措置 | 照射予告ブザー及び表示灯 | 有　　・　　無 |
| 使用記録簿の作成 | 有　　・　　無 |
| 装置専用の電源設備 | 有　　・　　無 |
| 放射線管理体制を示す組織図 | 有　　・　　無 |
| 放射線管理責任者の選任 | 有　　・　　無 |
| 放射線診療従事者等の被ばく線量の測定方法 | □ＯＳＬ線量計　□蛍光ガラス線量計（リング型含）□電子式ポケット線量計　□ＴＬＤ（リング型含）□その他（　　　　　　　　） |

５　診療用高エネルギー放射線発生装置（診療用粒子線照射装置）を使用する医師、歯科医師、診療放射線技師の氏名及び放射線診療に関する経歴

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 職種 | 籍登録年月日及び登録番号 | 放射線診療に関する経歴 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

注意事項

１　診療用高エネルギー放射線発生装置（診療用粒子線照射装置）を使用する医師等の氏名欄には、従事する全員の氏名を記入すること。

２　隣接室、上階及び下階の室名、周囲の状況並びに管理区域の標識の位置を明記した高エネルギー放射線発生装置使用室、診療用粒子線照射装置使用室又は手術室の平面図及び断面図を添付すること。（診療用高エネルギー発生装置使用室等の図面は、装置の位置、装置から天井、床及び周囲の画壁等の外側までの距離（ｍ）、画壁等の材質及び厚さ並びに縮尺及び方位を記入した縮図とする。）

３　診療用高エネルギー発生装置使用室等と居住区域、敷地境界及び病室の関係がわかる図面を添付すること。（図面は、装置のアイソセンターからの距離（ｍ）、縮尺及び方位を記入した縮図とすること。）

４　移動型装置の場合は、保管場所を明記した図面を添付すること。

５　診療用高エネルギー発生装置使用室等の構造設備が法令の基準に適合することを示す計算書を添付すること。

６　手術室で使用する場合には、放射線管理体制を示す組織図と放射線管理責任者の所属、職種及び氏名を記載した書面を添付すること。